

議員 自然環境や立地など既存の資源を活用し関係人口を増やす施策としてスポーツツーリズムが考えられるが市の見解をたずねる。

市長 観戦型のイベントだけでなく、体験型のイベントについても、大会前後に市の物産や歴史などを巡る観光や宿泊をセットにしたツアーや企画等を検討したい。スポーツ行事と観光をマッチングしながら、スポーツツーリズムを構築し、交流人口、関係人口の増加を図っていく。

政策部長 シティプロモーションの一環として、昨年オンラインイベントを開催し好評を得ており、お試し住宅に泊まつてみたい、笠岡に来てみたいという声もいただいている。このような取組も大事だと思っている。

市長 オンラインなどのツールを積極的に活用しながらシティプロモーションを実施し、人口増加に繋げたい。

議員 自然環境や立地など既存の資源を活用し関係人口を増やす施策としてスポーツツーリズムが考えられるが市の見解をたずねる。

政策部長 空き家バンクの登録件数を増やし、多様な選択肢ができるよう、登録のハードルを下げる取組の一環として考えたい。



さかもとりょうへい
坂本亮平議員



多角的視点からこれからのまちづくりを考える



梅雨時期の防災対策について問う



くわだ まさあき
桑田昌哲議員

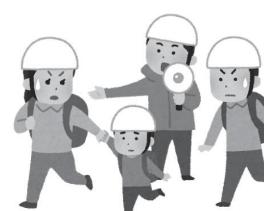
議員 ウェブ版のハザードマップを作成し、気象庁のキキクル（危険度分布）とマッチングすれば、危険情報の複合化ができ、防災アイテムになると思うがどうか。

議員 市として、たばこを吸う人と吸わない人への配慮をどう考えているか。

危機管理部長 ウェブ版のハザードマップは、変更した地域の部分的な修正や、避難時にスマートフォン等を使うことで避難の目安にできるなど、利点が非常に多いと考えており、今後も導入に向けて努力していきたい。

市長 望まない受動喫煙防止に関する正しい知識の普及、啓発のための広報活動を継続して行う。また、たばこを吸わない人の健康を守るため、分煙エリアの環境整備について研究する。

健康増進法改定後の禁煙者と喫煙者への配慮は



議員 避難所の感染防止対策として、PCR検査、抗原検査数を増やすことを県へ要請できないか。

議員 研究するといって法改正から3年経っている。民間企業は禁煙者、喫煙者両者へ配慮している。

総務部長 健康増進法の趣旨に基づき、喫煙所を設置せず現在まで來ている。屋上も安全管理が難しく、現在は考えていない。